

## 令和4年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局、帯広防衛支局

開催日及び場所	令和4年12月12日（月）北海道防衛局第1・第2会議室
委員	菊地 均（大学名誉教授） 神谷奈保子（大学客員教授） 大浦 崇志（公認会計士） 北守 一隆（大学名誉教授） 中野 雅文（弁護士）

### 防衛省発注機関が締結する契約（建設工事等）に関する協議

審議対象期間	令和4年7月1日～令和4年9月30日	
審議対象件数	37件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	7件	（審議概要） 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争契約	4件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
随意契約	2件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答	<b>【抽出案件】</b> <b>①令和4年度矢白別演習場周辺地区牧草地改良工事</b>  ・高落札率であるため、予定価格についての説明及び入札回数が2回となった詳しい経過について説明されたい。	・当該工事の予定価格の算定に用いている積算基準「土地改良事業等工事積算基準（工事編）（発行：一般社団法人北海道農業土木協会）」及び労務単価「公共工事設計労務単価（国土交通省HP：国土交通省不動産・建設経済局）」が公表されていることから、業者側が高い精度で積算を行うことが可能と推測でき、高落札率になったものと考えている。

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答</p>	<p>・結果的に落札しているが、今回予定価格を超過した理由については、どのように考えられるか。</p> <p>・具体的にはどの項目において、違いが生じたと考えられるか。</p> <p>・入札参加者が2者であり、過去の入札状況からも落札率の下降がみられないため、今後も高い落札率となるか。</p> <p><b>②釧路（2）体育館新設建築 その他追加工事</b></p> <p>・随意契約となった経緯を説明されたい。</p> <p>・建築資材等の高騰など、特殊な状況が生じた場合の対応は如何にするのか。</p>	<p>また、1回目の入札において、応札者の入札額が2者とも予定価格を超過したことから、2回目の入札を行っている。</p> <p>・予定価格を超過した理由については、積算内訳の一部項目に、歩掛における算定の端数調整に違いがあったことから超過したものと推測している。</p> <p>・土壌改良材の散布量に若干の違いがあったものと推測している。</p> <p>・積算に使用している歩掛及び単価については、国側、業者共に公表されているものを使用して積算していることから、高落札となっている状況が続いているものと考えている。</p> <p>・当該工事は本来一体とすべき構造物を予算の都合で発注することができなかったため、前工事として令和2年度予算の範囲内で発注し、残工事については、後工事として本年度に発注したものである。前工事の発注段階で後工事の内容を一定期間公示し、後工事の発注段階で他に参加を希望する者がいなかったことから後工事（追加工事）を随意契約することとしたものである。</p> <p>・契約書に基づき資材価格の変動に対応する単品スライド等の制度により適切に対応する。</p>

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答</p>	<p>・分割発注、随意契約などの選択は合理的に行われたのか。</p> <p><b>③名寄（４）隊庁舎新設等土木工事</b></p> <p>・この工事の落札率が 92.91 % という比較的低い値での落札された理由を説明されたい。</p> <p>・ 1 者辞退している理由を説明されたい。</p> <p><b>④千歳試験場（４）試験棟等改修建築その他工事</b></p> <p>・落札率が 94.47%となったのは予定価格が高算定だったからではないか。</p> <p>・ 予定価格超過の金額を見ると相当高くなっているがその理由は把握しているか。</p>	<p>・複数棟の発注であれば、分割発注も可能な場合があるが、当該案件の様に一体の構造物で、前工事と後工事の施工者が異なることで契約不適合責任を明確に分離することが困難ものの場合には、追加工事（随意契約）とするのが合理的と考えている。</p> <p>・この案件は地域評価型で発注しており、地域精通度や地域貢献度の評価点が低い業者が落札している場合は、比較的低い落札率であることが多いと認識している。</p> <p>・辞退した業者に確認したところ、配置予定技術者が他の工事の担当となったため、配置できる技術者がいなくなったため辞退したと聞いている。</p> <p>・工事価格は、公共建築工事積算基準に基づき算定しており、また、入札結果から、予定価格を超過した者が 3 者、調査基準価格を下回った者が 3 者あったことから、一概に予定価格は高算定とは言えないと考えている。</p> <p>・屋上防水改修において超過した者の価格は予定価格に比較し 3 割程度高価であったためと考えている。</p>

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答</p>	<p><b>⑤千歳（3補）庁舎整備基本検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募型プロポーザル方式について説明されたい。</li> <li>・他者より優位だと判断された理由について聞きたい。</li> <li>・評価した資料はあるのか。</li> </ul> <p><b>⑥千歳外（4）格納庫改修等設備設計</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目で3者が辞退した理由について知りたい。</li> <li>・特別経費とは何か。</li> </ul> <p><b>⑦北海道防衛局（4）陸上自衛隊北海道大演習場有明地区立木調査業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立木調査業務について説明されたい。</li> <li>・何年に一度しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度または専門的な技術が必要な業務の場合、公募型プロポーザル方式として技術提案書の提出をしてもらい、審査を行い一番優れた業者と見積り合わせを行ったうえで、随意契約するものである。</li> <li>・提案書の内容を審査し、評価したものです。</li> <li>・入札参加者の個人情報又は会社としての独自の技術が記載されている資料であるため添付していなかったが、提示には支障がない部分を整理した上で次の委員会で提示する。</li> <li>・辞退した業者に聞き取りをしたところ、金額的に折り合わなかった業者と他官庁の業務も受注しており、技術者の業務量の増加が懸念されることから、辞退したとのことである。</li> <li>・概ねアスベスト調査費が占めている。</li> <li>・国有財産に登録した時点から年数が経過すると、立木の成長等により乖離が出るため調査を行うものである。</li> <li>・何年に一度とは決まっていない。部隊からの要求に従っている。</li> </ul>

2. 談合疑義案件の処理状況について				
談合疑義案件	0 件		(審議概要) 処理状況を報告	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問		回 答	
	・なし			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし			
3. 再苦情処理 (再説明請求回答)				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数 0 件		(備考)	
建 設 工 事	一般競争(政府調達協定対象外)	件		
	公募型指名競争	件		
	指名競争	件		
	随意契約	件		
建設コンサルタント業務等	件			
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答	意見・質問		回 答	
	・なし			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし			